

## 第7章

## 計画の推進とフォローアップ

---

7.1 フォローアップ

7.2 水道関係者の取り組み



## 7.1 フォローアップ

信濃町水道事業ビジョンの計画期間中は、定期的に達成状況の把握・評価を行い、状況に応じて計画の見直しや改善を図ることで、確実に計画を遂行していきます。

計画推進のサイクルを図-7.1 に示します。

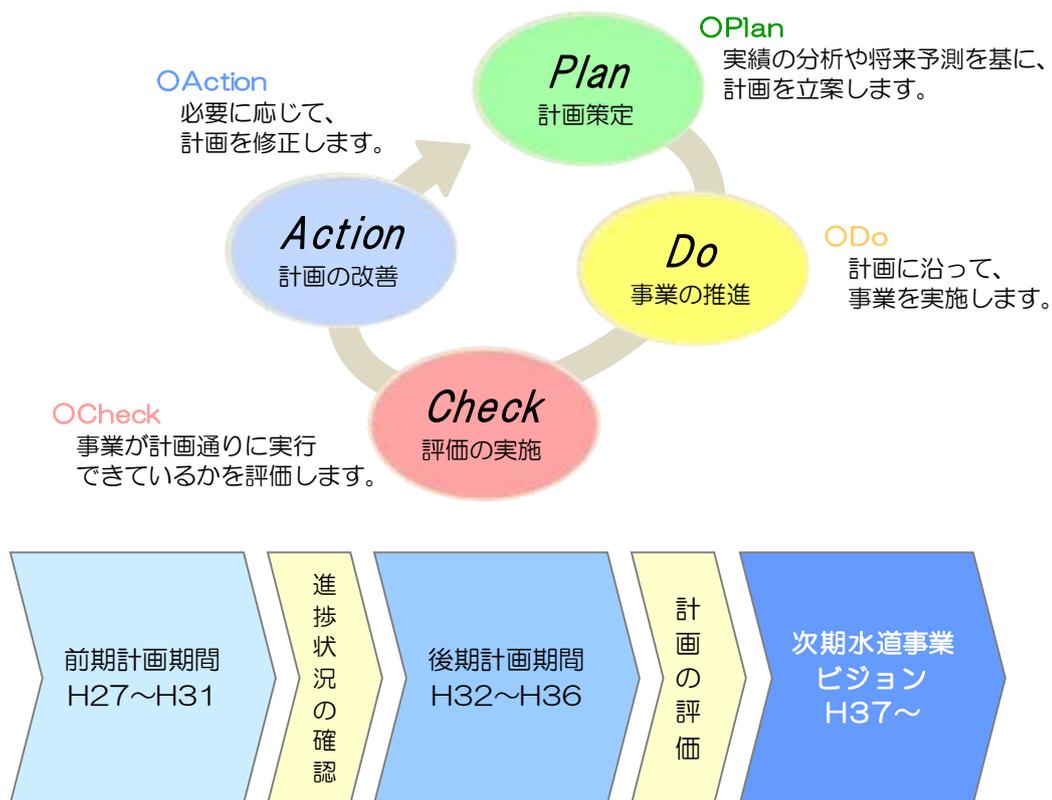


図-7.1 計画の推進サイクル

本水道事業ビジョンでは5年毎（前期計画期間の最終年度である平成31年度と、後期計画期間の最終年度である平成36年度）に進捗状況の確認及び計画の評価を行います。目標の達成状況や実現方策の実施状況を水道事業運営委員会等の関係機関に諮り、意見の聴取を行います。

評価の結果や水道関係機関の意見は後期計画期間における計画の修正や、次期水道事業ビジョンの策定に反映します。

## 7.2 水道関係者の取り組み

信濃町水道事業ビジョンの理想像の実現のためには、水道の関係者が協力し、それぞれの状況や立場に応じた役割を果たしていくことが重要になります（図-7.2）。

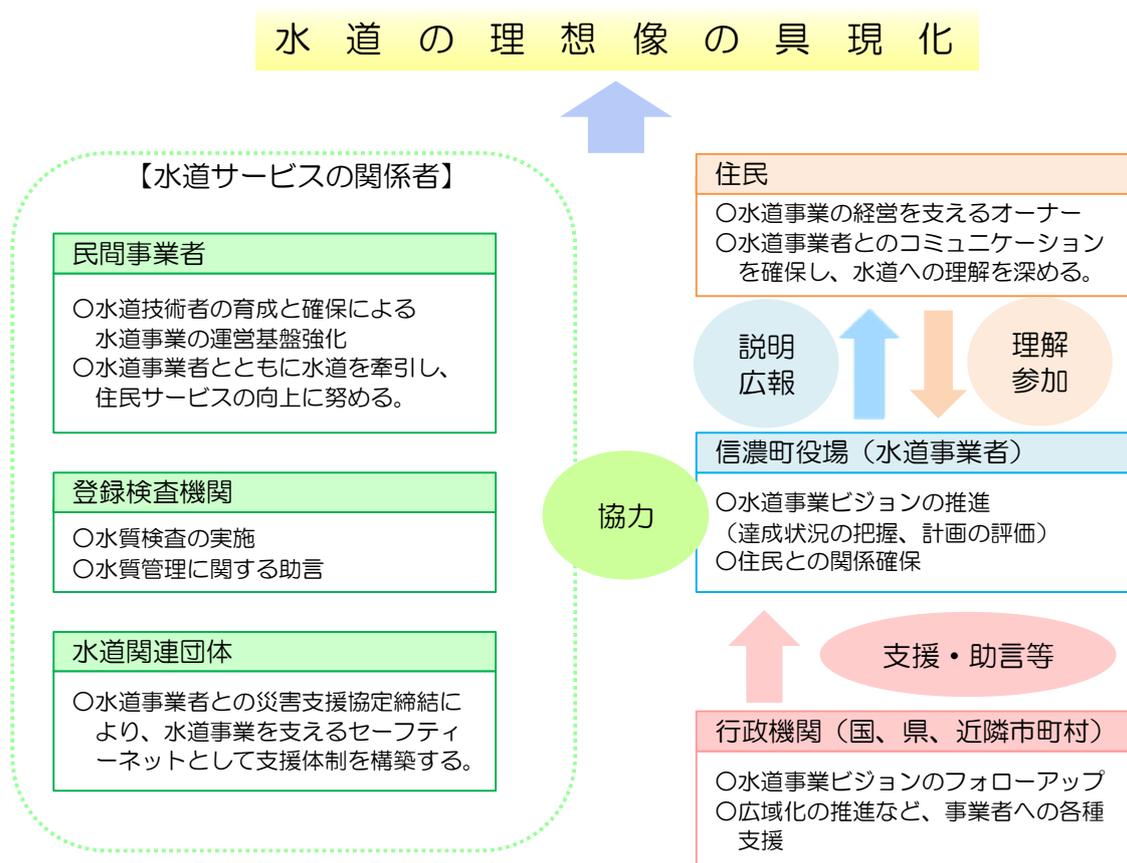


図-7.2 関係者の役割分担

水道の理想像の具現化に向け、行政機関（国・県等）は水道事業者と連携し、近隣市町村との広域化を推進していくなど、水道事業者単独では実現が難しい課題について支援を行っていく必要があります。

水道事業者は水道の理想像の具現化のために、積極的に実現施策を推進していく必要があります。実現施策の推進にあたり、水道事業者は水道サービスの関係者（民間事業者、登録検査機関、水道関連団体）から技術的な協力、助言、災害時支援等を受け、関係者と共に住民の方々へのサービスレベルの向上に努めていきます。

今後も厳しさを増していく水道事業運営を継続させるためには、受益者である住民の方々とのコミュニケーションが益々重要となります。水道の現況についての説明や広報を積極的に行い、様々な取り組みへの理解と協力を得つつ、施策を推進していきます。